

公募型プロポーザル方式により委託業務の受託者を選定するので、次のとおり公告する。

令和8年2月24日

奈良県知事 山下 真

1 業務の概要

(1) 業務名

つながり相談できる体制づくり事業（統括アドバイザー）

(2) 業務の目的、内容

4の(2)により配布する業務委託仕様書に示すところによる。

(3) 委託予定金額

7,021,000円（税込額）を限度額とする。

(4) 業務の仕様等

4の(2)により配布する業務委託仕様書に示すところによる。

(5) 履行期間

令和8年4月1日から令和9年3月31日まで

(6) その他

本業務の実施については令和8年度予算成立を条件としているため、予算成立状況により、契約を行わない場合や委託金額、委託期間等を見直した上で再募集を行う場合がある。なお、この場合においても、本事業の受託者募集に要した経費を請求することはできない。

2 応募資格

1の(1)の業務における受託者募集に参加できる者は、次に掲げる要件のすべてを満たす者とする。

(1) 地方自治法施行令（昭和22年政令第16号）第167条の4の規定に該当しない者であること。

(2) 奈良県の物品購入等に係る競争入札の参加資格等に関する規定（平成7年12月奈良県告示第425号）による競争入札参加資格者名簿に登録している者にあつては、参加申込書提出時点において、奈良県物品購入等の契約に係る入札参加停止等措置要領による入札参加停止の措置の期間中でないこと

(3) 会社更生法（平成14年法律第154号）第17条の規定による更生手続開始の申立て（同法附則2条の規定によりなお従前の例によることとされる更生事件（以下「旧更生事件」という。）に係る同法による改正前の会社更生法（昭和27年法律第172号。以下「旧法」という。）第30条の規定する更生手続開始の申立てを含む。）をしていない者又は申立てをなされていない者であること。ただし、同法に基づく更生手続開始の決定（旧更生事件に係る旧法に基づく更生手続開始の決定を含む。）を受けた者については、更生手続開始の申立てをしなかった者又は申立てをなされなかった者とみなす。

(4) 平成12年3月31日以前に民事再生法（平成11年法律第225号）附則第2条による廃止前の和議法（大正11年法律第72号）第12条第1項の規定による和議開始の申立てをしていない者であること。

(5) 平成12年4月1日以降に民事再生法第21条の規定による再生手続開始の申立てをしていない者又は申立てをされていない者であること。ただし、同法に基づく再生手続開始の決定を受けた者

- であっても、再生計画の認可の決定を受けた者については、再生手続開始の申立てをしなかった者又は申立てがされなかったものとみなす。
- (6) 役員等（法人にあつては非常勤を含む役員及び支配人並びに支店又は営業所の代表者）が暴力団員（暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律（平成3年法律第77号。以下「暴対法」という。）第2条第6号に規定する暴力団員をいう。以下同じ。）でないこと。
 - (7) 暴力団（暴対法第2条第2号に規定する暴力団をいう。以下同じ。）又は暴力団員が経営に実質的に関与していないこと。
 - (8) 役員等が、自社、自己若しくは第三者の不正な利益を図り、又は第三者に損害を加える目的をもって、暴力団又は暴力団員を利用していないこと。
 - (9) 役員等が、暴力団又は暴力団員に対して資金等を提供し、又は便宜を供与するなど直接的若しくは積極的に暴力団の維持、運営に協力し、又は関与していないこと。
 - (10) 役員等が、暴力団又は暴力団員と社会的に非難されるべき関係を有していないこと。
 - (11) 奈良県内に所在する、障害者総合支援法第5条第18項に定める特定相談支援事業又は一般相談支援事業の指定を受けている法人であること。

3 失格事項

応募者が次の事項に該当した場合は、失格とする。

- ① 上記2に示した応募資格が備わっていないとき。
- ② 提出書類に虚偽又は不正があったとき。
- ③ 提出のあった提案書等が様式及び記載すべき事項に適合せず、県の定めた期日までにその補正に応じないとき。
- ④ 一以上の審査項目についての記載がなかったとき。
- ⑤ 委託金額の上限を超える見積書が提出されたとき。
- ⑥ プレゼンテーションに出席しなかったとき。
- ⑦ その他不正な行為があったとき。

4 手続等

(1) 担当部局（書類の提出先及び問合せ先）

〒630-8501 奈良県奈良市登大路町30番地
奈良県福祉保険部障害福祉課自立支援係
電話番号 0742-27-8037（直通）
ファクシミリ 0742-22-1814

(2) 業務委託仕様書及び募集要項の配布

令和8年2月24日（火）から同年3月18日（水）午後5時までの間に、（1）の担当部局またはインターネットの「奈良県障害福祉課ホームページ」から入手するものとする。

(3) 企画提案書等の提出

（2）により配布する募集要項に示すところによる。

(4) 質問の受付

（2）により配布する募集要項に示すところによる。

5 受託者の選定

4の(2)により配布する募集要項に示すところによる。

6 その他

(1)本業務の提案への参加に係る費用は、応募者の負担とする。

(2)特定された提出者の書類は返却しない。しかし、特定されなかった提案者の企画提案書は返却するものとする。

(3)各業務の詳細は、4の(2)により配布する募集要項に示すところによる。